

こだま新聞

第175号

平成22年5月

フッ素洗口の効果

平成16年から平成18年まで秋田県が主導して「おくちブクブク大作戦」が行われ、5歳児を対象にして虫歯予防のためにフッ素洗口事業が行われました。

平成19年からは各市町村に移管されましたが、多くの市町村が撤退する中、

八郎潟町は町の協力もあって幼稚園の先生が先になって現在まで継続的にフッ素洗口事業を行ってきました。今年、平成20年度の歯科健診結果が発表されてフッ素洗口の効果が現れてきたので、皆さんにご紹介いたします。

小学校1年生の一人当たりの平均虫歯数(歯を抜いたり、虫歯の治療が終わったものも含めます)を比較して見ると、平成18

秋田県むし歯マップ(平成20年度実績)

中学校1年生のDMF歯数 (2.23)



中学生は虫歯がまだ多い八郎潟町の現状

年(幼稚園でフッ素洗口を始めたばかりの生徒)の結果は3.04本だったものが平成20年には1.85本になっていました。秋田県の25市町村と比較すると、平成18年度は18番目だったのですが、平成20年度は県

で1番虫歯のない町になっています。幼稚園の先生たちやご両親の努力がこのような成果をもたらしたと思います。

課題としては、5歳児だけの取り組みなので小学校の高学年になると急に虫歯の本数が増えていることや、早くからフッ素洗口に取り組んできた山形県や新潟県に比較するとそれでも虫歯が多い状態です。まだ努力が必要です。皆さまと協力して良い結果を持続できるようにしていきましょう。

町PRビデオ作成

毎年、秋田朝日放送主催のふるさと手作りCMにチャレンジしているメンバーが町のPRビデオを製作することになりました。

秋田県でもいくつかの市町村がすでに製作し放送されています。八郎潟町版は二つのタイプのビデオを同時製作しています。ひとつは年間を通して行事や伝統芸能、歴史的な地域文化

財を紹介する本格的なPRビデオ、もうひとつは毎月町の行事や出来事を紹介するスポットPRビデオです。スポットビデオはインターネットで毎月配信できるようにしたいと



リーダーの一人、安田君が話していました。

小中学校の卒業式、入学式の風景を撮り終え、今月開催される一日市願人踊りも撮影されることになっています。願人踊りと秋田音頭は練習風景や参加している子供たちへのインタビューなども撮影されて、本番の撮影が終わると配信する予定で準備が進んでいます。

今月の行事

5月

- 2日～5日 休診
- 5日 一日市神社例大祭
- 7日 メビウス定例会
- 8日 日本語教室研修会
- 9日 おもしろ市場
- 15日 こめたび
- 22日 クライン総会
- 27日 安全安心まちづくり
- 27日 日本語教室開校式
- 29日 駅からハイキング